

 <h1 data-bbox="582 246 774 347">道程</h1>	<p data-bbox="941 201 1308 235">西東京市立ひばりが丘中学校</p> <p data-bbox="1189 246 1308 280">第3学年</p> <p data-bbox="949 302 1069 336">第20号</p> <p data-bbox="989 347 1308 380">令和7年6月25日発行</p>
---	--

3日間の期末考査お疲れ様でした。テストの前日まで部活動の試合があった人は両立するのが大変だったと思います。明日からテスト返しが始まると思いますが、できなかったところは夏休みの課題として、理解できるようにしていきましょう。

今回はE組の運動会の作文を紹介します。合唱祭の自由曲は、A組「虹」、B組「証」、C組「はじまり」、D組「手紙」、E組「言葉にすれば」に決まりました。次の行事は合唱祭です。指揮者と伴奏者は練習がはじまりますので頑張ってください。



「最後の運動会」

E組

中学校生活最後の運動会。クラスで一致団結することは難しかったが、最後はやっぱり協力し合い、最高の運動会をつくりあげることができた。特に印象に残ったことは主に二つある。

一つ目は、むかで競争だ。練習でもなかなか上手いかず、速さを求めすぎて声掛けが合わなかったり、大変なこともたくさんあった。しかし、運動会予行では2位、本番では1位と良い結果がでた。確かにクラス皆が協力したのもあるけど、やはり体育行事委員会の2人がクラスをまとめてくれたのが一番の要因だと思う。雨でなければやっていた土曜日に男子同士でもめてしまった。この出来事があったからこそ、むかでで1位をとれた時、みんなで喜びを分かち合えたのだと思う。

二つ目は、ソーラン節だ。三月からクラスで練習し、互いにアドバイスし合ったソーラン節。踊りや声も難しかったが、一番難しかったのは、隊形移動だ。どこに移動すればいいのか…。でも、試行錯誤を繰り返しながら、ソーラン実行委員会を中心に細かい指示がでて、それにみんなが従うことで、最高のソーラン節ができた。ここで、赤学年の団結力を改めて感じた。

僕はこの運動会を通して、みんなで団結し、協力し合うことの大切さを学んだ。みんなで協力し合うことができなくなったら僕たちはここにいないと思う。高校に行っても、この気持ちを忘れずに生活していきたい。

「最後の運動会」

E組

私が最後の運動会で一番楽しかったことは、皆と協力したムカデ競争です。

私は今までクラスで一つも賞をとったことがありませんでした。運動会でも合唱祭でもです。だからこそ、準優勝という結果をととても誇らしく感じました。その準優勝につながった大きな出来事として、ムカデ競争の1位があると思います。最初の学年練習では最下位で、特に女子が何度も止まってしまっていました。正直、この時私は、ムカデ競争でよい成績をとるのは無理だろうと諦めていました。きっとそれは私だけではなく、多くの人が感じていたはずです。ただ、私たちが譲らなかったことがありました。それは「声を合わせる」ということです。一人一人が声を出し、校庭中に響かせました。そんなこんなで練習しているうちに何がなんでも勝ちたいという気持ちが私の中に芽生えてきたのです。元々、私はあまり勝利にこだわらないので、自分でも驚きました。

そこから私達のムカデ競争のスピードは着実に速くなっていきました。そして、予行ではついに2位まで上がってきたのです。「これなら1位がとれる」そう確信しました。

そして当日。気持ち悪くなるほど声を出し続けて、皆で1位を掴み取りました。

仲間と協力をしたことで、得意ではなかった運動会が楽しく感じるということができてよかったです。

